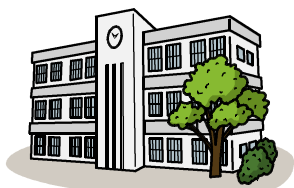


学校だより



雪小っ子

NO. 15

西海市立雪浦小学校

校長 浅田 眞理

平成28年 6月 14日 発行

雪浦っ子の心を見つめる教育週間スタート！

昨日から始まった本校での標記教育週間。5月24日付のお知らせプリントにて今週の予定はお伝えしたところですが、今日は教育週間スタートにあたり、ランチルームで全校朝会を開き、校長講話を行いました。昨年度は、教育週間の意義と『ことばの消しゴム』という小学生が書いた詩を使っての「命の大切さ」や「言葉の大切さ」についての内容でしたが、今年度は、明石家さんまさんの生い立ちや運命的な出来事、娘さんの名前の由来に触れることで、「命の大切さ」「親の思い・愛情」「誕生の喜び」等について話をさせてもらいました。短い時間ではありましたが、子供たちは真剣な表情で話に聞き入り、自分の命の大切さについて考えたり、家族の自分の誕生に対する喜びを想像したりすることができました。

明石家さんまさんは、3歳でお母さんを亡くされたり、19歳の弟を火事で亡くされたりしました。そのうちお父さんも亡くなり、若くして家族を亡くしてしまいました。また、520人あまりが犠牲となった日航ジャンボ機に乗る予定が、急に予定が早まったために1便早い飛行機に乗り、命が助かるという経験もしました。そのような経験をしてきたさんまさんは、いつしか「人間は、生きている、ただそれだけで価値がある」という意味の『生きているだけで丸儲け』という言葉大切にすることができるようになったそうです。

さんまさんの娘である『いまる』さん。実はいまるさんの『い』は生きているだけの『い』であり、『まる』は丸儲けの『まる』なのだそうです。

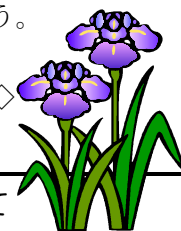
34名の本校の子供たちの名前にもきっと保護者の皆様の思いが込められていることでしょう。保護者の皆様におかれましても、お子様方の生まれた時のこと、幼少の時のこと等を思い起こせば、様々な子供たちの姿が浮かんでくることと思います。皆様によって愛情たっぷりに育てられた子供たちは、皆優しさいっぱい、大人への階段を上っています。

そこで、お願いです。年に一度でいいので、今晚あたりは、お子様と顔を突き合わせて、名前の由来を話してあげたり、小さい頃の様子を教えてあげたり、黙ってギュッと抱きしめてあげたり、そんなすてきな夜にしていだければと思います。きっと恥ずかしがり屋の子供たちも、心の奥では嬉しくてしょうがないのではないのでしょうか。愛情を感じ、心の安定も図れることでしょう。

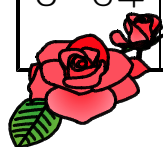
一緒にお風呂に入って、親子水入らずで話をされるのもいいですね。



一斉授業参観「道徳」の内容



学年	担任名	価値目標	主題・資料名	授業について
1・2年	中川久美子	生命尊重	かけがえのない生命 「ふしぎな音」	生命のすばらしさ・かけがえのない生命の大切さについて考えます。
3・4年	三浦 裕樹	生命尊重	生命の尊さ・ 生命あるものの大切さ 「あなたがもつ生きる力」	生命の尊さについて考え、自分自身を大切に思い、自分の生きる力を信じることについて考えます。
5・6年	石原 寿	友情	男女の助け合い 「絵地図の思い出」	男女一緒に仕事をする時の気持ちを考え、宿泊学習の経験を活かし、男女仲よく協力し、助け合おうとすることの大切さについて考えます。



※ 17日（金）13：45から、各教室にて公開されます。